

【令和元年台風及び新型コロナウイルス等被害東日本広域復興支援ファンド】 株式会社ケーエムケーに対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）のファンド運営子会社である REVIC キャピタル株式会社が東邦リース株式会社、株式会社常陽産業研究所、株式会社あしぎん総合研究所、八十二キャピタル株式会社、株式会社 AGS コンサルティングと共同で運営する「令和元年台風及び新型コロナウイルス等被害東日本広域復興支援ファンド」（以下、「本ファンド」という。）において、株式会社ケーエムケー（以下、「ケーエムケー」という。）からの優先株式を引受け、投資を実行しましたので、お知らせいたします。

ケーエムケーは、プラスチックを中心とする工業用樹脂製品や同金型製造を主業としたファブレス企業であり、工業用部品製造において高い企画提案力及び設計力を有しています。また、多品種・少量生産・短納期の部品製造に強みを持ち、県内外に幅広く有するパートナー企業とのネットワークのもと、企画から部品製造までを一気通貫で提供しています。

今般、ケーエムケーは、新型コロナウイルス感染症拡大による経営環境の変化を踏まえ、競争力の維持・向上を図り、更なる成長を実現するため、財務及び事業基盤の構造変革に取り組み、設備投資により生産性を向上させ受注を拡大する取り組みを行うこととしました。

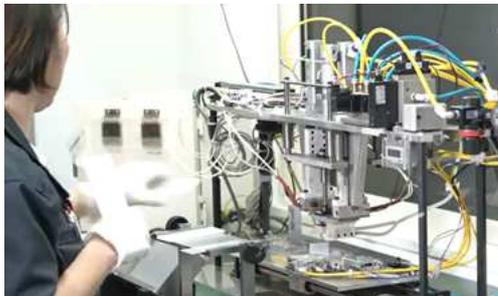
地域経済を支える中小製造業の取組みは、対象地域の経済復興に留まらず、地域の再成長・経済活性化にも寄与し、本ファンドの趣旨に合致することから、本ファンドは、設備投資により生産性を向上させ受注を拡大するケーエムケーの取組みを後押しすることとし、財務体質強化を目的とした優先株式を引受け、投資を実行しました。また、ケーエムケー経営陣と協調し、取締役の派遣を通じて事業基盤整備を支援することとしました。

今後も、機構は災害及び新型コロナウイルス感染症の影響により経営環境が悪化した事業者、または本件のような対象地域の再成長・経済活性化に資する取り組みを行う事業者への投資やハンズオン支援等を通して、地域経済の復興及び再活性化に資する事業者に対する必要資金の提供及び人的支援を行ってまいります。

【投資先の概要】

企業名	株式会社ケーエムケー
本社所在地	長野県埴科郡坂城町
設立年月	1972年2月
代表者	川島 隆教
事業内容	工業用樹脂製品、及び同金型等製造
取引金融機関	長野銀行 他

【投資先の製品等】



【令和元年台風及び新型コロナウイルス等被害東日本広域復興支援ファンドの概要】
機構ホームページをご参照ください。

<http://www.revic.co.jp/business/fund/38.html>

以上

<お問い合わせ・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構 <http://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表：TEL 03-6266-0310

地域活性化支援本部：TEL 03-6266-0590